整理No.	44

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	231-01	基本施策	生活環境の保全	所管部局	環境部
施　策　名	適正な廃棄物の処理の推進			主担当課	廃棄物対策課
				関係部局課	衛生センター・生活環境課
施策の目標	廃棄物処理事業者・排出事業者に対する監視・指導や災害廃棄物の円滑な処理などにより廃棄物の適正処理を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・排出事業者及び処理業者に対する監視指導を行うことにより、廃棄物の適正処理を推進して、安心・安全な生活環境を確保する。 ・下水道処理区域外を中心に、下水道への未接続世帯から、し尿及び浄化槽汚泥が排出されるので、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理を進め、清潔で快適な生活環境を実現する。 ・公共下水道の普及により、し尿収集量は平成8年度をピークに毎年10%程度の減少が続いているため、処理事業者の経営が不安定となっており、計画的に減車することにより、し尿処理体制を適正規模に縮小し、将来にわたり安定的なし尿の収集や運搬等の処理を図る

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
監視・指導立入件数	件	931	1,073	1,197				900
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
廃棄物処理業者･排出事業者に対して立入をし、監視・指導を行った件数	廃棄物処理業者・排出事業者に対し、立入り監視・指導を行い、適正処理が確保され、立入り件数が減少する。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
合理化事業転廃交付金	千円	65,250	43,060	43,060				0
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
処理業者の減車に対して、1台21,530千円の交付金の支援を行う	第五次合理化事業計画終了時点(平成26年度)での下水道水洗化率はおおむね90%になるため、同事業計画を廃止し、廃止後は長野市生活環境協同組合の経営努力により、適正な事業規模に縮小し効率化を図る							

25年度の取組内容実績	・廃棄物処理事業者・排出事業者に対し、1,197件の立入りを行った。また不適正な処理を行った事業者に対しては、行政指導32件、報告徴収9件、行政処分1件を行った。 ･し尿収集車両2台減車 ・し尿処理手数料収納率99%

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・廃棄物の不適正保管等の違反行為が認められる事業者に対し、違反行為を見過さず、迅速、的確な行政指導、行政処分を行っている ・公共下水道等の普及により、し尿世帯、収集量は年々減少しているが、収集が必要な世帯は存在しており、災害時を含めて適正な収集体制を図っている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・廃棄物処理業者に対して定期的な立入り・監視指導を行い、廃棄物の不適正処理を行ようにしている。 ・し尿手数料収納率については、前年度並みに99%を維持している。 ・し尿収集減量にともない、し尿収集車両は72台から21台となり、15社あった処理業者も4社となり収集体制の適正な縮小が図られている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	廃棄物処理事業者・排出事業者に対する監視・指導を行い、改善の遅れている一部事業者もいるが、廃棄物の不適正処理・過剰保管を未然に防止している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	改善の進まない事業者に対する指導が懸案となっている。また、廃棄物の適正処理に対する排出事業者等の意識が低いため、廃棄物処理業者にしわ寄せがきている	継続した立入り、マニュフェストの確認を行い、事業所への新たな廃棄物の搬入抑制、廃棄物の搬出計画の確認･見直し等、改善に向けたきめ細かな指導に努める。また排出事業者への啓発・指導を実施する。
2	今後、より一層収集量の減少が見込まれることから、災害時を見据えた安定したし尿収集体制確保に向けて、収集事業者を含めた協議組織による検討が必要になる。	許可事業者(5社)を長野市生活環境協同組合へ一本化する方向で協議を進め、平成27年度に全市委託化(浄化槽汚泥を除く)を実施し、より一層の効率化と災害時を見据えた安定した収集体制を確保する。

施策展開の方向性 (H26年度以降)	・廃棄物処理業者への行政指導、行政処分後も継続した立入り、搬出計画の見直し等を実施することにより、廃棄物の早期撤去に向けた改善意識を常に持たせ、適正保管量の厳守、廃棄物撤去による現状回復措置を図っていく。 ・下水道の未接続世帯のし尿や浄化槽汚泥等の処理、及び災害時を見据え、より一層の効率化と安定したし尿収集体制を確保する。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
1	一般・産業廃棄物処理監視指導 [サービス提供事業] 廃棄物対策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		廃棄物の適正処理推進のため、一般・産業廃棄物処理事業者や一般・産廃処理施設設置事業者に対し、監視・立入検査を実施する。					一廃産業廃棄物処理業、施設許可申請に伴う審査、届出及び立入り。許可等614件立入等1197件				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）(H26は予算額)			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	A	B	A	継続	104,010	123,529	202,691	106,850
2	し尿処理運搬業者合理化事業転廃交付金 [補助金・金銭給付事業] 衛生センター	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		公共下水道等の整備に伴うし尿収集運搬業者の経営の安定と適正な収集運搬体制の確保を図るため、し尿収集運搬車輌の計画的な減車に対して交付する					第5次合理化事業計画を実施し、平成26年度に2台減車し、終了する。				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）(H26は予算額)			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	B	A	C	廃止	66,718	66,728	44,510	44,524
3	し尿収集運搬 [サービス提供事業] 生活環境課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬を委託し、適正処理を推進する					し尿等収集運搬量　35,245キロリットル				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）(H26は予算額)			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	A	B	C	拡充	419,894	370,677	340,598	338,866
4		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）(H26は予算額)			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26